

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (775), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed cost breakdowns for fiscal years 2013-2016.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes sections for (1) 必要性, (2) 参加・協働の工夫, (3) 環境への配慮, (4) 目標設定は適切か?, (5) 効率性.

3. 事後評価

Summary table for '3. 事後評価' with columns: 評価項目, 改善案及び展開方向. Includes a row for '評価コメント'.

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード	873	課コード	0705	会計種別	土地区画整理事業特別会計	予算の種類	□政策 ■経常 □なし
-------	-----	------	------	------	--------------	-------	-------------

1. 事業の概要 (PLAN)										
(1) 事業概要	①事業名	基本事業 土地区画整理事業	実施計画への位置づけ	●有 ○無		②部課名	都市部・地域整備課			
	③事業主体	個別事業 天王台土地区画整理事業	④対象地区	□我孫子 ■天王台 □湖北 □新木 □布佐 □全市						
	⑤事業期間	昭和37年度～平成24年度		⑥担当職員数	2人 (換算人数) 0.3人					
	⑦事業費 (人件費含む)	総事業費	1,558,000千円	当該(開始)年度	当(初)	12,850千円 (うち人件費 2,850千円)				
	⑧施策の位置づけ	施策コード	61003	重点プロジェクトへの位置づけ	重点なし		基本計画地区別計画への位置づけ	○有 ●無 (計画名)		
(2) 目的	施策目的・展開方向	快適でくらしやすいまちをつくるため、地区の特性をいかしながら、地区計画や土地区画整理事業などの手法により、良好な市街地整備を進めます。また、施行中の土地区画整理事業の早期完了をめざします。			事業目的	J R常磐線天王台駅の開設が予定される好条件を有する地域にして、国鉄共済組合においては、すでに約12haの宅地造成がなされ、急激に人口増加が予想されるため、事前に土地区画整理事業を施行し、不規則な街路のならないよう整然たる街路のもとに、公共施設の整備改善と併せて宅地の利用増進を図る。				
(3) 事業内容	内容	我孫子市が施行する土地区画整理法第2条第1項に規定する土地区画整理事業であり、J R常磐線天王台駅南側の約51haを約13haの公共施設と約38haの宅地に整備する。			当該年度執行計画	○清算事務未納通知 随時 ○保留地所有権移転事務 5月 移転手続通知 随時 囑託登記 随時				
(4) 達成目標(期待する成果)	達成目標(期待する成果)			指標種類	指標		単位	(5) 現況値	(6) 目標値	
当該(開始)年度	清算事務等を終了させて、事業の完了を図る。			直接	総事業費残額に対する支出額の割合 (支出額/総事業費残額×100)		%	84.1	100	
3年後	事業完了			直接	総事業費残額に対する支出額の割合 (支出額/総事業費残額×100)		%	84.1	100	
最終(概ね5年後)				-				0	0	
(7) 事業実施上の課題と対応	分割清算金の徴収が課題となっている。時効、行方不明者等については、不納欠損処分を検討する。			代替案検討	○有 ●無					
(8) 施行事項	実施内容 費用	平成23年度		平成24年度		平成25年度		平成26年度		
		政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)	政策	内容	金額(千円)
		○事務所費	102	○事務所費	260					
		○繰出金	0	○繰出金	9,740					
		合計	102	合計	10,000	合計	0	合計	0	
		国庫支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		県支出金	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0	補助率 0%	0
		起債	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0	充当率 0%	0
		一般財源		102		0		0		0
		その他の財源	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	■特会 □受益 □債務 □基金 □その他	10,000	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0	□特会 □受益 □債務 □基金 □その他	0
(9) 財源内訳	換算人数(人)	0.1	0.3							
(10) 人件費等	正職員人件費	950	2,850							
	嘱託職員報酬額	0	0							
	臨時職員賃金額	0	0							
	事業費(予算(済)額+正職員人件費)	1,052	12,850							
(11) 単位費用 (事業費/活動結果指標)	0千円/%		12,850千円/件							

2. 事業の評価 (DO+CHECK)									
評価項目	事前評価				事後評価(評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む))				改善検討
(1) 事業が今必要である理由・背景は？(事業の必要性)	・J R成田線東我孫子駅に接続し、J R常磐線天王台駅の開設が予定される好条件を有する地域にして、国鉄共済組合においては、すでに約12haの宅地造成がなされ、急激に人口増加が予想されるため、事前に土地区画整理事業を施行し、不規則な街路とならないよう整然たる街路のもとに、公共施設の整備改善と併せて宅地の利用増進が図られる。				○①事前確認での想定どおり ○②事前確認での想定どおりでなかった ＜想定どおりとした理由/想定どおりでなかった原因＞				○要 ○不要
(2) 市が実施する必要性はあるか？(市実施の必要性)	●①民間企業、NPO、市民団体等では実施できない(理由) ■法令等で市が実施することが定められている □提供主体が市しかない □その他		＜その他の内容＞		□①民間企業、NPO、市民団体等では実施できなかった □②市が主導で進めなければ実効性がなかった □③市が先導役となったことで市民へ普及が一層促進された □④市の支援が政策・施策の目標の実現に貢献した □⑤サービス水準が確保された □⑥サービスの安定供給基盤が確保された □⑦その他		＜市実施の具体的な内容・必要性の理由＞		○要 ○不要
参加・協働の工夫	参加・協働の内容		工夫の具体的な内容		実施した参加・協働の具体的な内容(又は今後、参加・協働が考えられる場合にはその内容)		参加・協働の程度・内容		○要 ○不要
	○①事業計画時に市民の参画有り ○②事業実施時に市民の参画有り ○③管理・運営に市民の参画有り ○④市民の自主的な活動と連携している ○⑤市民と共同で事業を実施 ●⑥その他 ＜その他の内容＞ 該当なし						○①当初期待した以上 ○②当初期待したとおり ○③当初の期待以下 ＜期待した以上となった理由/期待以下であった原因＞		
環境への配慮	配慮の視点		取組む内容		実施した具体的な内容		環境への配慮		○要 ○不要
	□①自然環境を生かしている □②生き物と共存している □③手賀沼を意識している □④環境負荷低減に貢献している ■⑤その他 ＜その他の内容＞ 環境の拠点にふさわしい近隣公園の整備						○①想定どおり ○②想定どおりでなかった ＜想定どおりでなかった原因＞		
(1) 目標設定は適切か？	現況値(a)(%)	目標値(b)(%)	目標値の妥当性のチェック		達成状況	○①目標値達成 ○②目標値未達成		○要 ○不要	
	84.1	100	■①客観的なデータ・事実に基づき設定している □②現況値と比べ実現性が乏しい値ではない □③現況値との差が小さい値ではない □④適当な比較対象がある場合、比較対象例における目標値(と現況値の差)と同等の水準である		実績値(f)(%)	達成率(%) (f/b×100)	＜目標を達成した理由/未達成となった原因＞		
(2) 事業費削減の工夫をしているか？	対策実施による事業費削減		実施予定の対策		実施状況		○①想定事業費未済 ○②概ね想定事業費以内 ○③想定事業費超過		○要 ○不要
	事業費(c)(千円)	事業費削減額(d)(千円)	□①国・県助成制度活用 □⑤PFI等民間資本の活用 ■②現有体制での対応 □⑥受益者負担 □③維持管理費の削減策の実施 □⑦その他 □④民間委託		実績値(g)(千円)	対事業費(%) (g/c)×100	○①事前の想定どおり ○②事前の想定どおりでなかった ＜想定どおり削減できなかった原因＞		
	事業費削減率(%)		＜削減の内容＞		＜超過理由等＞				
△1,121.48									
(3) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か？(目標対費用)	目標値対事業費(e)		計算方法		達成状況		○①目標値以上 ○②目標値と同程度 ○③目標値以下		○要 ○不要
	1.24	単位 費用単位	○①単年度の指標：目標値×費用単位/事業費 ●②複数年度の指標：(目標値-現況値)×費用単位/事業費		実績値(h)	対目標値(%) (h/e)×100	＜目標値以上となった理由/目標値以下であった原因＞		

3. 事後評価										
○現状どおり推進 ○拡充 ○縮小 ○結合 ○休止 ○廃止 ○事業手法見直し ○その他(事業完了など)										
評価	評価コメント				改善策及び展開方向					

事務事業評価表（平成24年度）

事業コード 875 課コード 0705 会計種別 一般会計 予算の種類 政策 経常 なし

1. 事業の概要 (PLAN)
(1) 事業概要
(2) 目的
(3) 事業内容
(4) 達成目標 (期待する成果)
(7) 事業実施上の課題と対応
(8) 施行事項
(9) 財源内訳
(10) 人件費等
(11) 単位費用

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

評価項目: (1) 事業が今必要である理由・背景は? (2) 市が実施する必要性はあるか? (3) 市民の参加や市民との協働を工夫しているか? (4) 環境に配慮して事業を進めているか? (5) 目標設定は適切か? (6) 事業費削減の工夫をしているか? (7) 目標値を実現するために投じる事業費は適正か?

3. 事後評価

現状どおり推進 拡充 縮小 結合 休止 廃止 事業手法見直し その他(事業完了など)
評価コメント 改善策及び展開方向

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (876), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main table for '1. 事業の概要 (PLAN)'. Includes sections for (1) 事業概要, (2) 目的, (3) 事業内容, (4) 達成目標, (7) 事業実施上の課題と対応, and (8) 施行事項 with detailed budget breakdown for fiscal years 2013-2016.

2. 事業の評価 (DO+CHECK)

Evaluation table with columns: 評価項目, 事前評価, 事後評価 (評価結果に応じ、改善案検討(拡充も含む)), 改善検討. Includes criteria for necessity, citizen participation, environmental consideration, and cost-effectiveness.

3. 事後評価

Post-evaluation section with columns: 評価項目, 評価コメント, 改善策及び展開方向. Includes a status legend (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

事務事業評価表(平成24年度)

Header table with columns: 事業コード (877), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

Main evaluation table (1. 事業の概要 (PLAN)) containing project details, objectives, content, and financial data for fiscal years 2013-2016.

Main evaluation table (2. 事業の評価 (DO+CHECK)) containing evaluation criteria for necessity, participation, environment, and efficiency.

Summary table (3. 事後評価) for post-evaluation, including status and improvement directions.

事務事業評価表（平成24年度）

Header table with columns: 事業コード (1787), 課コード (0705), 会計種別 (一般会計), 予算の種類 (政策, 経常, なし)

1. 事業の概要 (PLAN) - Overview of the project including purpose, content, and implementation details.

2. 事業の評価 (DO+CHECK) - Evaluation section with multiple rows for different criteria like necessity, participation, environment, and efficiency.

3. 事後評価 - Post-evaluation section with options for status (e.g., 現状どおり推進, 拡充, etc.)

Final summary table with columns for 評価コメント and 改善策及び展開方向